

そう だい お じ だい い
総 題 「終わりの時代に生きる」

だい か かんぜん ぎ せい
第9課 完全な犠牲イエス

さとう ゆう ほ
佐藤由歩

いち あんそくにちごご
1. 安息日午後

じゅう じ か しょうけい どう ぐ はいばく はじ しょうちょう こ だい ひとびと きら
十字架はもともと処刑道具であり、敗北や恥の象 徴 として古代の人々から嫌われていまし
た。そのような道具がなぜ、キリスト 教を象 徴するものとなったのでしょうか。それはイエス
さま ぜんじんらい つみ じゅう じ か みずか ささ
様が全人類の罪をゆるすために、十字架で自らを献げられたからです。

て がみ だい い ちに しょうに せつ かれ つみ そな
ヨハネの手紙第一2章2節に、「彼（イエス）は、わたしたちの罪のための、あがないの供え
もの物である。ただ、わたしたちの罪のためばかりではなく、全世界の罪のためである。」（口語
やく）とあるように、イエスさま じ しん ぎ せい じゅう じ か わたし にんげん すく しょう り
様ご自身の犠牲によって十字架は私たち人間の救いであり、勝利と
なったのです。

こんしゅう わたし びと て がみ み じゅう じ か まな
今週、私たちはヘブル人への手紙に見られる十字架について学びます。

に にちようび ぎ せい ひつよう
2. 日曜日：なぜ犠牲が必要だったのか

びと て がみ きゅう しょう じゅう ご せつ よ さま じゅう じ か し もくてき
ヘブル人への手紙9章15節を読んでみましょう。イエス様が十字架で死なれた目的は、
わたし すべ つみ さま すく ぬし しん すべ ひと てんごく まね
私たちの全ての罪をゆるし、イエス様を救い主と信じる全ての人たちを天国へと招くためです。

ど れい たみ あれ の とお やくそく ち
エジプトの奴隷であったイスラエルの民は、モーセにより荒野を歩いて約束の地であるカナン
へと 導 けられました。イスラエルの民は父なる神様により与えられた契約を守ることができませ
んでした。ですから、イエスさま みずか ぎ せい じゅう じ か ささ けいやく まも
様は自らを犠牲として十字架に献げることによって契約を守られ
たのです。ここに、人類 じんらい たい さま あい しめ
に対するイエス様の愛が示されています。

さん げつようび ぎ せい かたち
3. 月曜日：犠牲のさまざまな形

せいじょ ぎ せいせい ど いつ こと しゅるい ぎ せい や つ
聖所におけるイスラエルの犠牲制度には5つの異なる種類の犠牲がありました。「焼き尽くす
ささ もの こくもつ ささ もの わ かい ささ もの しょうがい ささ もの ばいしょう ささ もの
献げ物」、「穀物の献げ物」、「和解の献げ物」、「贖罪の献げ物」、「賠償の献げ物」で
す。これらは、単にイエスさま わたし ぎ せい う い じょう い み も
様が私たちの犠牲となられたことを受け入れる以上の意味を持っ
ています。それは私たちが日々イエス様から受けている恵みを積極 的に他者と分かち合い、また
わたし あやま おか ひとびと たい わ とも しんこう
私たちが過 ちを犯した人々に対してしっかりとお詫びをすることです。そして共に、「信仰に

よって、キリストがあなたがたの心のうちに住み、あなたがたが愛に根ざし愛を基として生活すること」（エペソ人への手紙 3 章 1 7 節）を目指していくことが大切です。

4. 火曜日：イエスの完全な犠牲

レビ人の祭司たちは毎日、そして年ごとに聖所で供え物やいけにえを献げましたが、この世の誰もが人類を完全に救うことはできませんでした。人間はみんな罪人だからです。ヘブル人への手紙 10 章 10 節を読みましょう。「・・・ただ一度イエス・キリストのからだがささげられたことによって、わたしたちはきよめられたのである。」とは、イエス様こそ私たちのための完全な犠牲であること、そしてそのような救い主であるイエス様に優る供え物は他にないことを意味しています。ですから、私たちはそのような変わらないイエス様を目指して歩むことができるのです。

5. 水曜日：十字架と赦しの対価

聖所におけるイスラエルの犠牲制度には 2 つの段階があります。日々、悔い改めた人が聖所に犠牲となる動物を持ってくると、祭司によってその動物は悔い改めた人の罪を背負い、身代わりとして殺されました。こうしてその人は罪から清められますが、その罪は一年間の間は聖所に残ることになります。ですから年一回、大祭司と呼ばれる人が聖所を清めるための働きをしますが、これはイエス様が全ての罪を背負う働きを象徴しています。ヘブライ語において「赦す」という動詞には「運ぶ、負う」という意味があるように、イエス様は今も私たち一人一人の罪を取り除き、そして清めてくださっているのです。

6. 木曜日：裁きと神の御品性

私たちは、イエス様だけが私たちの罪を背負って十字架で死なれた唯一の救い主であると信じることによってゆるされ、救われます。一般的に「神の裁き」と聞いて良い印象を持つ人は多くありません。しかし、裁きの本当の目的は私たちの罪をゆるされたイエス様の愛と正しさをこの世にはっきりと示すことなのです。私たちは、一度も罪を犯さなかった完全なイエス様のご自身を犠牲として献げられた十字架による救いを信じることに以外に、自分を清めることも救うこともできません。ですから、裁きの時に私たちの罪や過ちを告発するサタンに対して、イエス様だけが私たちのために力ある弁明をしてくださるのです。

7. 金曜日：さらなる研究

ジリ・モスカラ教授の再臨前審判の性質についての解説を読みましょう。イエス様は私たちの罪を一つ残らずご存じですが、それを私たちに突き詰めることを喜ばれません。代わり

にイエス様は、十字架を通して私たちに変わらない愛を示されました。その愛による犠牲が自分の罪のためであったことを自覚する時に、私たちの生き方が変わります。その生き方を通してイエス様のご品性が表されることに感謝しましょう。

〈質問〉

「ヘブライ人への手紙に描かれたイエスのみ姿を読者が捉えて離さないのは、イエスが何をされたかということだけでなく、イエスがどのような方であることを語って」（ガイド1ページ）います。

今週の学びを振り返り、今日のあなたにとってイエス様とはどのような方かを考えてみましょう。

また、あなたにとって十字架は何ですか？（処刑道具、罪、死、勝利、希望、救いなど）